

## カンヌッキG型設置操作マニュアル ～手動編～



撤去する支柱に対して、画像の様にプレートを置く。  
レベルプレートを置くことによりカンヌッキ本体が安定し、  
支柱の引抜きが容易になります。  
(プレートはオプションの為、別売になります。)



カンヌッキ本体を支柱の上から貫通する様に通し、  
プレートの上にカンヌッキ本体を設置する。



二つ割れのチャックを支柱とカンヌッキ本体の間に装着。



二つ割れのチャックを完全に装着出来たら、  
チャックが水平に入っているか確認をする。  
バランス良く水平に装着出来ていない場合は、  
水平になる様に再度、装着し直してください。  
水平に装着が出来ていない場合は、チャックの  
破損の原因に繋がります。



手動ポンプのメスカプラーのリップを引張り、  
カンヌッキ本体のオスカプラーを接続します。  
接続部のカプラー Sleeve が外れていないか  
左右に回して確認をしてください。



手動ポンプ各名称

7.



\*各名称参照  
エア抜きプラグを必ず  
緩めてください

給油口兼エア抜きプラグを左に必ず2~3回転回し緩めて使用してください。エア抜きプラグを締めた状態でハンドルを操作すると給油口兼エアプラグ等の部品から油が飛び出したり、ハンドルが持ち上がって作業者に当たり負傷する可能性があります。必ず作業前にエア抜きプラグを緩めてください。また、作業後は締めて油が漏れないようにしてください。

8.



リリースバルブを右に回して  
締めてください。

リリースバルブを右に回し締付けてください。締付けしないと圧がかからずシリンダーに力が伝達せず、シリンダーが上がりません。必ずリリースバルブを締付けてください。

9.



上下に操作

8-9の手順が問題ないのを確認し、ハンドルを上下に操作してください。ハンドル操作することによって、シリンダーが上昇し、支柱が引き抜かれます。

10.



ハンドル棒を上下に操作すると画像の様にシリンダーが上昇します。シリンダーが上がり切る前にハンドル棒の操作を止めリリースバルブを左に回し圧を戻してください。

11.



リリースバルブを左に回し  
油圧を戻してください

リリースバルブを左に回し油圧を戻してシリンダーを下げてください。再度リリースバルブを締め、7-10の手順で支柱が抜けるまで操作してください。

### ★ご注意ください★

- 1.シリンダーが上がった状態で油圧ホースをカンヌッキ本体から外さないでください。油圧がかかった状態では再度、油圧ホースを接続しても接続できません。必ずリリースバルブを戻しシリンダーが下がったのを確認して脱着してください。
- 2.手動ポンプ作業前は、必ず給油口兼エア抜きプラグを緩めてください。作業後は、必ず締めてください。油が漏れる可能性があります。
- 3.作業前は必ず給油口兼エアプラグで湯量の確認を行ってください。湯量が少ない状態で作業を行うと空気を押すことになり力が低下し力が伝達しません。また、エア抜きが必要となりますのでご注意ください。
- 4.給油方法は手動ポンプ用取扱説明書を参照ください。

株式会社タイガー